

- 1 開催日時** 平成27年3月26日(木)  
午後1時30分～3時

**開催場所** 小牧市役所 東庁舎5階 大会議室

**2 出席者**

- (1) 市民会議委員 15名
- (2) 事務局 協働推進課：江口課長、伊藤課長補佐、堀田係長、葛谷
- (3) 傍聴者 なし

**3 会議資料**

会議次第

篠岡小学校区地域協議会設立までの経過

篠岡小学校区地域協議会組織体制（案）のイメージ図

小牧原小学校区での住民勉強会のチラシ

**4 会議内容**

- 1 会長あいさつ
- 2 地域協議会に関する進捗状況等について
- 3 その他

**【司 会】**

皆様、こんにちは。

ただいまから第12回地域協議会市民会議を開催いたします。

会に先立ちまして、皆様に市民憲章の唱和をお願いいたします。

恐れ入りますが、御起立をお願いいたします。

お手元の次第裏面をごらんいただき、私が先導させていただきますので、後に続いて御唱和をお願いいたします。

[市民憲章唱和]

**【司 会】**

ありがとうございました。御着席ください。

本日の予定につきましては、お手元の会議次第のとおりであります。

初めに、稲垣会長から御挨拶をいただきます。

**【稲垣会長】**

皆さん、こんにちは。

本日は、年度末ということでございますが、何かと御多忙の中、第12回小牧市地域協議会市民会議に御出席していただきまして、誠にありがとうございます。

さて、早いもので、今年度も残り数日となりました。この後、事務局から進捗状況の報告があると思いますが、地域協議会について、事務局もいろいろと考えていただいておりますが、そう簡単にはいかないように思います。私たちも少しでも前に進めていけるように、意見や知恵を出していく立場にありますけれども、なかなか思うようにいかないのは現状だと、こんなふうに思っております。

今年度はもう終わりになりますけれども、来年度以降、これからどうやって前に進めていったらよいか、この会議のあり方等も含めて、事務局とよく検討していきたいと思っております。今日は忌憚のない御意見を出していただきまして、来年度につないでいけることを希望しまして、挨拶にかえさせていただきます。

**【司 会】**

ありがとうございました。

それでは、会の議事進行は会長が行うこととなっておりますので、稲垣会長、よろしくをお願いいたします。

**【稲垣会長】**

はい。それでは、地域協議会に関する進捗状況等について、事務局から説明を

お願いいたします。

〔事務局から資料に基づき説明〕

【稲垣会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局から、現在の進捗状況等について説明がありましたが、地域協議会に関することならどんなことでもかまいませんのでお願いいたします。

【井戸田委員】

篠岡小学校の地域協議会の組織図の中で、現職の区長さんは入ってみえるんですか。

【事務局】

現職の区長さんは、全員何らかの形で役員として携わっていただいております。

【井戸田委員】

具体的に伺いたい。

【事務局】

副会長と事務局長、あと理事の2名と監事1名で5名です。

【稲垣会長】

会長は区長ですか。

【事務局】

会長は区長さんではない方です。

【井戸田委員】

そうしますと、これは充て職ですか。充て職だとすると毎年人が変わっていく訳ですか。

【事務局】

そうですね。区長の枠については、区長が変われば変わるということです。

【井戸田委員】

そうしますと、今の仕事をやりながらこれを別にやるわけですよ。そういう負担に対する抵抗感はなかったですか。

【事務局】

そうですね。この学区内の区長の方々は、もちろん個々の考え方の違いはあるものの、立ち上げていこうという方向性はまとまっており、設立まで進めたという感じですよ。

【井戸田委員】

なるほど。そうすると、これは現職の区長が引っ張っていったのですか。

【事務局】

はい。ここの地区に関しましては、現職の5区長がリードしていただいて、人を集め、進めていったという流れです。

【林委員】

毎年毎年役員さんが変わっていくということになると、引き継ぎがうまくいくのかなと疑問に思う。

また、回覧で住民の方に周知しても、おそらくほとんどの人が見ないという状況だから、一般住民の人は、理解していないと思う。

そうすると一体あの人たちは何をやっているんだろうということになり、一般住民の方が参加する機会も何か考えてかなきゃいかんと思う。

【稲垣会長】

事務局の考えはどうか。

【事務局】

そうですね。特に設立初年度は区長さんが役員を引き受けますという形で進めていきましたが、確かにおっしゃるように、現職の区長さんですとやっぱり区の活動がありますので区長さんの負担を考えますと役員構成というのは、恐らく区長さんは承認するような形にして、区長さん以外の方で担っていただけるのが理想的であろうという話は出ておりました。

防災防犯部会ですとか子ども部会、福祉部会で比較的地域の中で活動されている方で、この分野で気づきの早い方、話し合いができる方を一度ちょっと篠岡小学校区で集めていただきまして、実際に今後事業を起こしていく段階で、地域でボランティア募集をかける。そういった形で進めていこうという動きになっております。

また、周知という点で、小学校区の皆さんが理解しているかということ、そこはまだまだ不足しているところがありますので、やはり事業を立ち上げる、活動に取り組んでいく中で協力を呼びかけながら、周知していくということになるのではないかと考えております。

【増田委員】

篠岡小学校区は、部会が3つあるんですが、この内容を見ると、何となく課題解決型の部会ばかりかなという気がするんですけども、レクリエーション的な部会というのはこれから話が出たときにつくっていくという考え方ですかね。

### 【事務局】

防災防犯と福祉部会については、日常の困りごとや地域の課題解決を意識された構成になっております。

多分、子ども部会の取組みがどちらかというところ、行事やイベントを通じながら交流を図っていきましょうというイメージです。

### 【宗像委員】

この篠岡小学校区の組織図を見て、私の地域の小牧原小学校区におきかえますと、例えばスポーツ振興会については、12区の中から体育委員なり子ども会の代表がスポーツ振興会に出てきているんですね。それから、福祉部会のほうに民生委員さんが入っておりますが、民生委員さんは、あまりスポーツ振興会と関わりがないと思うんです。今現在も地域のいろんな団体の関わり方がややこしい。

そういうような状況で、横の繋がりはいいのか、関係者も非常に多くなって本当にまとまるのかと思いますが、そこら辺どうですか。

### 【事務局】

確かに小牧原小学校区は、人口規模で見ても大きいですし、区の数でも多い地域ですので、篠岡小学校区の構成メンバーをそのまま移行すると相当大人数の組織になるんじゃないかというお話しかと思いますが、今、言われたように、現在はそれぞれの団体の繋がり方もややこしくてよくわからないという状況、これは、どこの地域にもある話でして、これは、行政の縦割りが地域の縦割りをつくってしまっていて、横の連携があつたり、なかつたり、バラバラになってしまっている状況ですので、横の連携をしっかりとすることが地域協議会の目的の一つでもあると思っています。

市の方でも、まずは小牧原小学校区の情報を収集して、最も良い形を考えていきたいと考えています。例えば小牧原小学校区の規模になりますと、少しブロック分けして、各ブロックの中から代表して民生委員さん何名ですとか、どういう連携をとっていくかということから詰めていきたいと思っています。

### 【稲垣会長】

そのほか何か、御質問、御意見、あるいは各地区でこんな状況だという意見はありませんか。

### 【林委員】

組織図については、各地域でそれぞれ違った組織図が出てくると思うが、最終的に出てきた組織図は、どの地域もひな形にするだろうと思うので、ある程度標準的な形を考えていく必要があると思います。

それからそれぞれの地域の状況把握、要するにこの地域にはこんな団体がある

というような情報を事務局で把握したほうがいいと思います。

**【稲垣会長】**

他にも思っていることをご発言ください。

**【増田委員】**

篠岡小学校区が設立されるまでの背景の中で、こんなことをしようとか、あんなことをしたらいいとか、どんな意見が出ていましたか。

**【事務局】**

いろいろ意見があった中で、最も関心の高かった分野は、やはり「防災」の分野で、小学校での避難所の運営的なものを取り組んでいきたいという話がありました。

あと、子ども分野では、旧篠岡地区と桃花台という地域になっていますので、桃花台のお子さんが池之内とか林のほうの自然豊かな利点を生かしたところで、少しイベントをしながら触れ合いたいというような話がありました。

福祉分野では、介護予防とか、高齢者の生きがいづくりという視点のところで、ボランティアセンター的なちょっとしたお手伝いというようなところで、少し何かアクションを起こしていけないかという話がありまして、この3つの部会ができたというような背景です。

**【増田委員】**

個人的には最初から課題解決はどうかと思うので、まずは遊びを入れたものからやっていったほうが一般の住民の方は入りやすいのかなというふうに思います。

**【稲垣会長】**

ありがとうございます。その他はどうですか。

では、陶小学校区の今の状況はどうですか。

**【落合委員】**

ちょうど発足しまして1年になりますが、今年の1月に地域の田中新聞で新しく委員を募集しましたところ、相当の人が手伝ってもいいよというふうに言っていただきました。

先ほど、地域協議会の周知の関係の御意見がありましたように、陶においても区民全員に地域協議会の理解をしてもらって立ち上げたわけじゃございませんので、いろいろと心配していたんですけども、徐々に活動していく中で、手伝っていただける人が増えてきました。

今後の問題として懸念されることは、どうしても人がたくさん集まると、あの人が入るといやだとか、この人が入るとどうだとか、そんなような話が出て

きますと難しいなあというふうに感じています。

なるべくそういうことはないようにしていくのが地域協議会だよとは言っていますがけれども、これから地域協議会を進めていく上で、人間関係についても配慮していく必要があるのかなと感じております。

**【稲垣会長】**

その他ございませんか。味岡地区はどうですか。

**【栗本委員】**

前にも申し上げましたが、味岡地区は学区と区の境界の不一致が複雑ですから、今のところ思案中です。

**【稲垣会長】**

北里地区はどうですか。

**【羽飼委員】**

今回の御意見を頂戴しまして、また来年度以降の役員の方に引き継いでまいります。

**【吉田委員】**

大変すばらしい篠岡小学校区の地域協議会の組織体制案でございますが、4月に設立総会ということで、ここまでの大変な御苦労があったのは推察されますが、恐らく事務局サイドも相当の苦労があったと思いますので、参考までにその辺りをお聞かせ下さい。

**【事務局】**

事務局の苦労話ということではありますが、昨年11月から準備委員会が立ち上がりまして、これまで5カ月間ですけど、我々市の方ができる支援というのは、基本的にはその会議の資料を作成するところまでです。

やはり話し合いの部分ですとか、地元の方でこういう団体があったりですとか、そういう団体に協力の依頼要請をするという地元調整となりますと、我々は顔もわからないものですから、どうしても区長さん方中心で動いていただくこととなります。

市のほうは、お地元の方が特に苦手とされる部分の資料作成が中心になります。確かに資料作成のための情報をお聞きすることも、電話一つでも確認したいことがなかなかできなかつたりとか、そういう部分の苦労はありましたが、お地元で動かされた部分についての御苦労というのは、我々よりも区長さん方のほうが大きかったのではないかと思います。

**【水野（康）委員】**

私は、陶の本当の昔からの田舎の育ちで、学区がどうのこうのということとはわ

かりませんが、先ほど小学校区と区の不一致がネックという御意見がありました  
が、最終的に全地域で協議会が設立されれば全員参加できると思いますので、そ  
うやって考えてみてはどうでしょうか。

**【栗本委員】**

味岡地区は、今まで意見交換等をしてきているものの、区長も毎年交代する人  
がほとんどで、意見がなかなかまとまらず、大変難しいと思います。

**【水野（康）委員】**

むしろ学区云々の問題よりも、結局は区長の任期の問題ですね。

**【稲垣会長】**

では、次に秦野委員の御意見はどうですか。

**【秦野委員】**

多分、今までの区の行政に加え、やはり余分なものが1個上から降ってきたみ  
たいな感じがまだ強いと思うんですよね。だから、いい意味で陶も篠岡も区の役  
割はこうで、地域協議会の役割はこうだというような、ある種、ちょっとすみ分  
けを図りながら区の行事の見直しをされて、本当に地元で住んでいる人たちに必  
要なことを、最低限これだけは必要なことだということを区でやってもらって、  
みんなでやればやっただけ成果が上がるようなものを協議会でやるということで、  
二重負担のような心配を少しずつ取り除いて、それが非常に上手くいきましたよ  
という例を是非つくっていただいて、そういった方たちの体験がちゃんとほかの  
区に伝わるようにしていけばいいのかなあとと思います。先ほど落合委員が言われ  
たように、公募してみたら協力者が集まってきたみたいなのも踏まえて、情報の  
共有ができるようにしていくといいと思います。

**【稲垣会長】**

建設的な意見をありがとうございます。伊東副会長、何かありませんか。

**【伊東副会長】**

やはり今、市子連の状況を見ている限り、地域協議会が立ち上がりますと、地  
元の子ども会は、地域協議会にいきまして、市子連のほうは抜けていかれるよう  
な状況になっています。

篠岡小学校区内の池之内も林も、つい数年までは市子連の加盟団体でございま  
したので、何とか上手くやっていただけないかなと思っております。

**【稲垣会長】**

私の区の子ども会からの情報も聞いておりますが、地域協議会ができると、同  
じ学区の子ども会が一緒になるから市子連ではなくて地域協議会ですくってもら  
えんかねという話になる、やはり子どもが減って、役員のなり手不足が深刻であ

り、今後その辺りのことを十分考えていかなければなりませんね。

では、次に西部コミュニティセンター運営協議会の稲山委員どうですか。

**【稲山委員】**

ちょっと質問ですけど、例えば福祉部会あたりで、何か特別にこういうことをやるといいよということがあるのか、例えば寝たきりの人たちがいると、そういうのを民生委員さんたちも含めて一緒になって見回ったり、サポートしたりするというをやろうとしているのか、それとも老人クラブの皆さんが集まって、自分たちが楽しく何かしようとかいうこととか、具体的に考えておられることがあれば、お伺いしたい。

**【事務局】**

基本的には地域で福祉分野ということでやっていくというと、やはり介護予防的な視点になると思います。

小牧原でもやっぱり楽しみながら介護予防につながることを企画していきたいという意見もありますし、市の方も介護予防の分野で、いろいろと地域の方々からお知恵をいただければというようなところがあります。

もう1つは先ほど言われたように、やはり民生委員さんもかなり高齢者の増加に伴って訪問する件数も増えてきておりますので、そういったところからは、もし可能なら一緒に活動していきたいという両方の意見が出ていますので、その辺は地域のご意向で進めていくという感じであります。

**【稲山委員】**

我々の西部コミュニティセンター運営協議会は、どちらかというイベントを中心にずっと進めてきており、ここで協議している地域協議会とは少し違っていると思う。

少しというか、大きく違っておると言ってもいいのかもしれませんが、そういうのを踏まえて、それぞれの地域の中でどのように組織化をしていくかというところになると、皆さん方、一様におっしゃっているのは、どんどん組織がふえていくので、非常に多くの役員を兼ねて、担い手を選ぶのが大変だということになる。

また、区長さんがいろいろなものを兼ねていくと余計大変になる。結局は担い手、人材確保が最も重要で、その地域にそういった人はおってくれるかどうか、やっぱりそういう人を早くつかんで、進めていかないといかんのかなと思いつながら、自分の地域を見てみると、なかなか難しいなと思うのが現実でございます。

**【稲垣会長】**

その他、何かありませんか。

**【井戸田委員】**

この篠岡小学校区について、今年度の事業とか、予算なんかはどれぐらいで予定してみえるんですか。

**【事務局】**

今、実は、総会で準備しております事業計画については、篠岡小学校を避難所とした広域防災訓練を一つ具体的に進めていこうということになっておりますが、あとのところは話し合いから進めていこうという形の事業計画になっておりますので、具体的にこの事業をやってみようというところまでは、まだ組み立てられていない状況です。

**【井戸田委員】**

予算はどのくらい組んであるんですか。

**【事務局】**

運営にかかる経費等は計上されておりますが、実際に事業にかかる経費は、これから積算していきます。

**【林委員】**

例えば地域の高齢者が健康維持のために、体操をやるだとかゲートボールをやるというのは課題解決型なのか、交流促進型なのか。予算がつくのかつかないのかお聞きしたい。今後、事業によっては、すみ分けに迷うような場合が、出てくると思う。

**【事務局】**

最終的にはこの市民会議で御審議していただくことになりますが、介護予防に繋がるかどうかポイントになると思います。

**【吉田委員】**

ちょっと、今日のいろんな組織の現状を考えてみますと、少子高齢化という時代背景の中で、特に老人会と子ども会の2つのことをちょっと思うんですけど、現実的にはなかなか新しい人が加入されず、こういう組織を継続していくことが大変難しくなってきたのではないかと思います。

参考までに老人会と子ども会の組織率が分かれば教えてください。

**【伊東副会長】**

子ども会の組織率ですが、今大体、市内の小学生、1年生から6年生、大体9,000人ぐらいの中で、3,000人ぐらいがこの市子連に入っています。子ども会があって市子連に加入していないところもありますが、市子連に加入している子ども会の組織率は、約30%ぐらいと理解しています。

ただ、これがまたエリアによってすごく組織率が違ってしまっていて、例えば北里

とか小牧南なんかだとほぼ100%に近いんですね。ところが、逆に今言われているような篠岡であるとか、陶だとかというのは、実は非常に低いエリアです。味岡や小牧もそんなに高くないエリアです。そんなような現状です。

あと、加入のときの世話人さんの勧め方も、通常であれば入りますよねと勧めに行けばいいんですけど、入りますか入りませんかと勧めにいかれると、じゃあ入りませんという答えが返ってきますので、その勧め方はよくないんじゃないですかと言ったことはありますが、地域や勧め方一つとっても相当の差があります。

**【水野（康）委員】**

子ども会も老人会も似たりよったりといっでは何でございまして、実は今年度、全部で79支部あるんですが、2支部やめて、そのかわり2支部加入しました。老人会の組織率としましては、128区の中の79組織で会員は6,000人弱です。

また4月以降、脱退意思表示をしているところもあり、どうしてなくなるかといひますと、役員のみ手がないということなんですね。

役員のみ手がないというのが一番の問題で、これさえ解決すれば老人クラブの数が減るということはずないと思ひます。というのは、団塊の世代がこれからはぐっと増えてきますから、単位支部数は増えなくても会員数は増えるんではないかと思ひておひります。老人会はまんざら捨てたもんでありません。

**【稲垣会長】**

他に何かありませんか。

**【石原委員】**

私の地域の「いきいきサロン」は年齢制限をなくしても、なかなか人数が増えませんが。また、区の中では割と子どもが多い地区でも、子ども会がつかれない。

今、一色小学校区ではスポーツ振興会がかなり力を入れてやってくれておひります。振興会が子どもから高齢者まで、いろいろな世代の方に呼びかけて運動会などをやってくれておひります。

やはりうまく地域協議会と結びつけて、小学校区単位で横の連携を強めるということでおひらめていけばよいと思ひます。

**【稲垣会長】**

いろいろ皆さん方に意見を言っただきまして、まだまだたくさんあるのかなと察しますけれども、この辺で少しまとめさせたいと思ひます。

冒頭にも申しましたが、この会議の中でいろいろ議論したことがなかなか地域協議会の設立に結びついていかないので、会議のあり方やおひらめ方を根本的にいろいろ考える必要があると思ひておひりますので、また来年度、事務局と十分調整しまして、皆さん方と立ち上げやすい方向に持っしていきたいと、こんなふ

うに思っております。

そうは思っておる中で、私自身ずっと考えておりますけれども、やはり今、出前講座という講義がありますね。ですから、地域協議会について、やっぱり出前講座でこちらから積極的に地域へ出て講座をやっていくということも一つの方法かなあと、こんなふうに思っておりますし、今まで2つ立ち上がっておるものの、やはり地域協議会を来年度中には何らかの形をつけていかないかんだらうと、こんなふうに責任を感じておる次第です。

ですから、委員の皆さん方の地域でもぜひ地域協議会を進めていけるように責任を持ってやっていただきたいとお願いする次第でございます。

**【林委員】**

最後にひとつ発言させてください。

先日、秦野委員が代表をやってみえる市民活動ネットワークで、川北秀人さんという方を招いて、この地域協議会のようなことの説明があって、本当に有意義な講義を聞かせていただきました。そういった方を招いて、今、会長が言われたように、各地域で講義をしてもらうのもいい方法ではないかと思えます。

**【稲垣会長】**

建設的な意見、ありがとうございます。それも含めて事務局と協議していきます。最後に、事務局から何かありますでしょうか。

[事務局から事務連絡]

**【稲垣会長】**

ありがとうございました。

それでは、第12回の地域協議会市民会議は、これをもちまして終了とさせていただきます。長時間御審議していただきまして、ありがとうございました。